

2022年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 未来へ

代表者・役職名 氏名 理事長 藤本 優

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

自立援助ホーム 太陽 施設整備

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

児童養護施設や里親の元で暮らしている子どもたちや自立が困難な若者を支援すべく平成26年に「NPO 法人未来へ」を立ち上げ、現在では会員数10名となっております。その活動を進めて行く中で、岡山県には児童自立援助ホームの男子寮が無いことが分かり、自立援助ホームの必要性を感じ、NPO 法人未来へで設立することになりました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

自立援助ホーム内の施設環境整備をする事業である。今現在、職員が常駐する職員室にエアコンが無い状態なので職員が作業をする時に困難を強いられています。そのため、エアコンの新設工事に本助成金を充てたいと思っています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

現在、職員室にはエアコンが設置されておらず、職員の中には、寒さや暑さで体調を崩す職員も多くなってきています。また、面談を行う際に利用者から「職員室は寒い(暑い)」と不満の声が聞こえてきます。利用者には不便な思いをさせている現状を打開したいと思い、家電量販店などに問い合わせをして、金額を確認し、今回の助成金に於いて福利増進の項目として応募させていただきました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

エアコンの新設工事を行ってから、利用者はもちろんの事、職員のモチベーションアップにも繋げる事ができ、作業効率の上昇にもなりました。また、利用者からも面談時の暑さ寒さの苦情が格段に減ることもなりました。生活に対する満足感にも変化がありました。前回同様、精神面で利用者の安定が図れたことによりホーム内のいざこざが激減したように感じます。本当にありがとうございました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今後の展望として前回も上げさせていただいておりました、女子寮の新設もどんどん計画は進んでおり、来年度開所を目指し努力しております。ここ数年、男子の需要も女子の需要も増えているなか、私どもの団体で出来る限りの支援を今後も継続して行っていくためにも環境整備や支援者のスキルアップに力を注いでまいりたいと考えております。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

